

平成17年3月期 第3四半期財務・業績の概況（連結）

平成17年1月31日



上場会社名 日立金属株式会社

上場取引所 東大

コード番号 5486

本社所在都道府県 東京都

(URL <http://www.hitachi-metals.co.jp>)

代表者 執行役社長 本多 義弘

問合せ先責任者 コミュニケーション室長 石毛 秀

TEL (03)5765 - 4073

1. 四半期財務情報の作成等に係る事項

会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 有

固定資産の減価償却の方法について年度見込額のうち当第3四半期分を計上しております。また、法人税等の計上は、簡便的に課税所得金額を算定し、法定実効税率を使用して計上しております。

最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 有

セグメント情報「1. 事業の種類別セグメント情報」(注)に記載のとおり、当連結会計年度より事業区分を従来の「高級金属製品」「電子・情報部品」「自動車用高級鋳物部品」「設備・建築部材」「サービス他」の5事業から「高級金属製品」「電子・情報部品」「高級機能部品」「サービス他」の4事業に変更しております。

連結及び持分法の適用範囲の異動の有無 : 有

連結範囲及び持分法の適用に関する事項

連結子会社数 103社 持分法適用関連会社数 17社

連結範囲及び持分法の適用の異動状況

連結(新規) 30社 (除外) 2社 持分法(新規) 1社 (除外) 3社

<連結子会社>

(新規) Herculite Foundry Technology Ltd.、日立金属(蘇州)閩門管件有限公司、

日立金属(東莞)特殊鋼有限公司、HMF Technology Korea Co.,Ltd.他1社(新規設立)、

(株)NEOMAX、Pacific Metals Co.,Ltd.他1社(株式追加取得等による)

また、(株)NEOMAXが連結会社となったことに伴い住特フェライト(現株)NEOMAXフェライト)

など(株)NEOMAXグループ19社が、Pacific Metals Co.,Ltdが連結会社となったことに伴い

Pacific Metals Tianjin Co.,Ltd.が新たに当社グループに加わった。

日立金属工具鋼(日栄鋼材(株)より分割)、(株)NEOMAXマテリアル(株)NEOMAXより分割)

(除外) ヒサゴバルブサービス(株)、(株)クスノキ(合併による)

<持分法適用会社>

(新規) 双雄精密電子股份有限公司(株)NEOMAX新規連結に伴う編入)

(除外) (株)NEOMAX、Pacific Metals Co.,Ltd、日本非晶質金属(株)(連結子会社へ編入)

2. 平成17年3月期第3四半期財務・業績の概況(平成16年4月1日～平成16年12月31日)

(1) 経営成績(連結)の進捗状況

(注) 百万円未満は四捨五入して表示しております。

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
17年3月期第3四半期	414,594	36.5	29,589	204.5	26,581	259.8	13,121	612.7
16年3月期第3四半期	303,813	-	9,717	-	7,387	-	1,841	-
(参考)16年3月期	420,080		18,576		15,184		3,408	

	1株当たり四半期(当期)純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益
	円 銭	円 銭
17年3月期第3四半期	37.21	-
16年3月期第3四半期	5.16	-
(参考)16年3月期	9.09	-

(注) 売上高、営業利益等におけるパーセント表示は、対前年同四半期増減率

[経営成績の進捗状況に関する定性的情報等]

当第3四半期(9ヶ月累計)における売上高は、高級金属製品分野ならびに電子・情報部品分野が好調であったことに加え、NEOMAXグループが連結対象となったことから、対前年同期比36.5%増の414,594百万円となりました。経常利益は対前年同期比19,194百万円増の26,581百万円、四半期純利益は対前年同期比11,280百万円増の13,121百万円となりました。

セグメント別の状況は、次の通りです。各セグメントの売上高は、セグメント間の内部売上高または振替高を含んでおります。

なお、アモルファス金属材料事業の買収や水処理事業の譲渡を実施し、またNEOMAXグループを連結対象としたことにより事業構成が大幅に変化したしました。これに伴い、当連結会計年度よりセグメントの区分を変更しております。

高級金属製品

高級特殊鋼ならびに切削工具は、アジア・北米を中心とした自動車業界の好況に伴い需要が引き続き高水準に推移した結果、大幅に増加しました。ディスプレイ関連材料ならびに半導体パッケージ材料を中心としたエレクトロニクス材料についても、デジタル家電・AV機器向けの需要が好調に推移し、あわせて液晶パネルを中心とした設備投資が活発であったことから、大幅に増加しました。また、各種ロールは、鉄鋼業界の好況により受注は増加しましたが、出荷が第4四半期となるものが多数のため当期の売上は前年同四半期並みとなりました。一方、射出成形機用部品は、年度後半よりの設備投資抑制の影響を受け、減少しました。

この結果、当セグメントの売上高は150,355百万円となり、これを前年同期と比較しますと、21.5%増となりました。また、営業利益は13,901百万円(対前年同期比7,318百万円の増)となりました。

電子・情報部品

フェライト・希土類等各種マグネット及びその応用品については、主要需要先の自動車業界・工作機械業界および電子機器業界の好調を受け、大幅に増加しました。フェライトコア及び巻線部品につきましても、液晶ディスプレイ等デジタル家電の市場拡大を受け大きく伸長しました。情報通信部品(アイソレータ及びアンテナスイッチモジュール)は、携帯電話市場の好調ならびに新規のお客様への当社品採用が進み、大幅に伸長しました。ファインメットはデジタル家電関係の需要増を受け増加しました。

この結果、当セグメントの売上高は120,832百万円となり、これを前年同期と比較しますと、199.2%の増となりました。また、営業利益は10,086百万円(対前年同期比9,381百万円の増)となりました。

なお、当連結会計年度よりNEOMAXグループが連結対象となり、当セグメントに加えております。

高級機能部品

高級ダクタイル鋳鉄製品は、排ガス規制強化に伴うトラック向けの需要が引き続き好調で増加しました。耐熱鋳鋼製品は減少したものの、アルミホイールは、海外向け需要の好調を受け増加しました。アルミニウム製品は、製品の精選を進めたことから前年同四半期並みとなりました。管継手(鉄管継手及び防食継手)ならびにステンレス・プラスチック配管機器は、建築新規着工の増加はありましたが配管材質の変化の影響を受け、前年同四半期並みとなりました。内装システムならびに構造システムは、活発な設備投資需要のもと大幅に増加しました。

この結果、当セグメントの売上高は125,633百万円となり、これを前年同期と比較しますと8.1%の増となりました。また、営業利益は5,973百万円(対前年同期比1,667百万円の増)となりました。

サービス他

国内販売、海外販売ともに好調でした。

この結果、当セグメントの売上高は76,328百万円となり、これを前年同期と比較しますと10.8%の増となりました。また、営業利益は1,186百万円(対前年同期比2,214百万円の増)となりました。

(2) 財政状態（連結）の変動状況

	総資産	株主資本	株主資本比率	1株当たり株主資本
	百万円	百万円	%	円 銭
17年3月期第3四半期	533,286	160,102	30.0	457.88
16年3月期第3四半期	429,669	150,931	35.1	422.89
(参考)16年3月期	429,289	151,224	35.2	427.40

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
17年3月期第3四半期	16,085	10,998	10,966	47,674
16年3月期第3四半期	6,471	16,538	13,743	32,650
(参考)16年3月期	20,124	17,699	15,786	42,896

[財政状態（連結）の変動状況に関する定性的情報等]

当第3四半期の営業活動によるキャッシュ・フローは、好調な業績による税金等調整前四半期純利益26,638百万円の伸びが大きく、増収による売掛債権の増加、及び価格高騰に備えた原料の在庫確保等の運転資金需要がありましたが、16,085百万円の収入となり、前年同期比では9,614百万円の収入増となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、設備投資による支出額が増加しましたが、投資有価証券の取得による支出の減少もあり10,998百万円の支出となり、前年同期比では5,540百万円の支出の減少となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、有利子負債の圧縮による支出5,495百万円、配当金の支払3,355百万円、自己株式の取得2,119百万円による支出等により10,966百万円の支出となり、前年同期比では2,777百万円の支出の減少となりました。

以上の結果、現金及び現金同等物の期末残高は期首に比べ5,825百万円減少しましたが、当年度第1四半期から株式会社NEOMAXの連結会社への編入による現金及び現金同等物の増加10,603百万円があり、期末残高は47,674百万円となりました。

3. 平成17年3月期の連結業績予想（平成16年4月1日～平成17年3月31日）

	売上高	経常利益	当期純利益
	百万円	百万円	百万円
通 期	550,000	33,500	12,500

(参考) 1株当たり予想当期純利益(通期) 35円 00銭

[業績予想に関する定性的情報等]

国際市況の影響による原材料価格の上昇や需要動向の変化などが見込まれますが、平成17年3月期の業績につきましては、売上高・経常利益は平成16年9月中間期決算発表時の予想を上回る見込みです。

(注記) 前述の業績見通し等に記載されている各数値は、実績数値を除き当社の経営者が現時点で判断する一定の前提および仮定に基づき算定しております。内在する仮定及び状況の変化等により、実際の業績等が見通しの数値と異なることがあり得ますことをご承知おき下さい。

連 結 貸 借 対 照 表

(単位：百万円)

科 目	当第3 四半期末 (A) <small>(平成16年 12月31日現在)</small>	前連結 会計年度末 (B) <small>(平成16年 3月31日現在)</small>	(A) - (B)	科 目	当第3 四半期末 (A) <small>(平成16年 12月31日現在)</small>	前連結 会計年度末 (B) <small>(平成16年 3月31日現在)</small>	(A) - (B)
流 動 資 産	<u>284,200</u>	<u>214,778</u>	<u>69,422</u>	流 動 負 債	<u>186,085</u>	<u>141,484</u>	<u>44,601</u>
現金及び預金	35,298	20,746	14,552	支払手形及び買掛金	60,115	40,757	19,358
受取手形及び売掛金	111,497	80,286	31,211	短期借入金	69,661	49,243	20,418
完成工事未収入金	1,671	2,972	1,301	1年以内に返済 すべき長期借入金	6,712	4,153	2,559
関係会社預け金	12,324	22,099	9,775	1年以内償還の社債	5,000	11,404	6,404
有価証券	84	1,086	1,002	未払費用	17,587	18,838	1,251
たな卸資産	102,171	71,668	30,503	前受金	2,314	2,150	164
繰延税金資産	12,976	10,844	2,132	その他の流動負債	24,696	14,939	9,757
その他の流動資産	9,825	6,468	3,357				
貸倒引当金	1,646	1,391	255	固 定 負 債	<u>140,916</u>	<u>126,053</u>	<u>14,863</u>
				社 債	42,908	40,750	2,158
固 定 資 産	<u>249,086</u>	<u>214,511</u>	<u>34,575</u>	長期借入金	54,521	41,975	12,546
有形固定資産	<u>201,862</u>	<u>151,456</u>	<u>50,406</u>	退職給付引当金	31,057	26,422	4,635
建物及び構築物	60,540	51,544	8,996	役員退職慰労引当金	1,155	1,335	180
機械装置及び運搬具	69,518	53,519	15,999	繰延税金負債	3,842	2,972	870
工具器具備品	5,758	3,781	1,977	連結調整勘定	2,230	905	1,325
土地	60,508	38,189	22,319	その他の固定負債	5,203	11,694	6,491
建設仮勘定	5,538	4,423	1,115	負 債 合 計	<u>327,001</u>	<u>267,537</u>	<u>59,464</u>
				少数株主持分	46,183	10,528	35,655
無形固定資産	<u>3,108</u>	<u>2,977</u>	<u>131</u>	資 本 金	<u>26,284</u>	<u>26,283</u>	<u>1</u>
				資本剰余金	<u>36,700</u>	<u>36,699</u>	<u>1</u>
投資その他の資産	<u>44,116</u>	<u>60,078</u>	<u>15,962</u>	利益剰余金	<u>105,869</u>	<u>95,940</u>	<u>9,929</u>
投資有価証券	13,346	27,792	14,446	その他有価証券 評価差額金	<u>1,688</u>	<u>1,500</u>	<u>188</u>
長期貸付金	1,532	1,169	363	為替換算調整勘定	<u>6,841</u>	<u>7,711</u>	<u>870</u>
繰延税金資産	20,406	23,915	3,509	自 己 株 式	<u>3,598</u>	<u>1,487</u>	<u>2,111</u>
その他の投資等	9,724	7,738	1,986				
貸倒引当金	892	536	356	資 本 合 計	<u>160,102</u>	<u>151,224</u>	<u>8,878</u>
資 産 合 計	<u>533,286</u>	<u>429,289</u>	<u>103,997</u>	負債、少数株主持分 及び資本合計	<u>533,286</u>	<u>429,289</u>	<u>103,997</u>

連結損益計算書

	当第3四半期(A) 自平成16年4月1日 至平成16年12月31日		前第3四半期(B) 自平成15年4月1日 至平成15年12月31日		(A) - (B)	(A) / (B)	前連結会計年度 自平成15年4月1日 至平成16年3月31日	
	金額	売上比	金額	売上比			金額	売上比
【経常損益の部】	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
営業損益の部								
売上高	414,594	100.0	303,813	100.0	110,781	136	420,080	100.0
売上原価	325,333	78.5	245,302	80.7	80,031	133	336,495	80.1
販売費及び一般管理費	59,672	14.4	48,794	16.1	10,878	122	65,009	15.5
営業利益	29,589	7.1	9,717	3.2	19,872	305	18,576	4.4
営業外損益の部								
営業外収益	3,594	0.9	2,702	0.9	892	133	4,019	1.0
(受取利息及び配当金)	(309)		(223)		(86)	(139)	(285)	
(持分法による投資利益)	(168)		(398)		(230)	(42)	(782)	
(雑収益)	(3,117)		(2,081)		(1,036)	(150)	(2,952)	
営業外費用	6,602	1.6	5,032	1.7	1,570	131	7,411	1.8
(支払利息)	(1,962)		(1,521)		(441)	(129)	(2,092)	
(雑損失)	(4,640)		(3,511)		(1,129)	(132)	(5,319)	
経常利益	26,581	6.4	7,387	2.4	19,194	360	15,184	3.6
【特別損益の部】								
特別利益	3,977	1.0	1,373	0.5	2,604	290	3,142	0.7
(連結子会社株式売却益)	()		(167)		(167)	()	(167)	
(固定資産売却益)	(2,296)		(1,206)		(1,090)	(190)	(2,975)	
(持分変動利益)	(1,681)		()		(1,681)	()	()	
特別損失	3,920	0.9	2,985	1.0	935	131	8,661	2.1
(会計基準変更時差異償却による退職給付引当金繰入額)	(2,264)		(2,267)		(3)	(100)	(3,049)	
(確定拠出年金制度移行に伴う損失)	()		()		()	()	(114)	
(固定資産売却損)	()		(216)		(216)	()	(300)	
(事業構造改革特別損失)	(1,656)		(502)		(1,154)	(330)	(3,859)	
(投資有価証券評価損)	()		()		()	()	(389)	
(過年度賞与負担社会保険料)	()		()		()	()	(950)	
税金等調整前 四半期(当期)純利益	26,638	6.4	5,775	1.9	20,863	461	9,665	2.3
法人税等	10,770	2.6	3,765	1.2	7,005	286	5,909	1.4
少数株主利益	2,747	0.7	169	0.1	2,578	1,625	348	0.1
四半期(当期)純利益	13,121	3.2	1,841	0.6	11,280	713	3,408	0.8

連結剰余金計算書

	当第3四半期(A) 自平成16年4月1日 至平成16年12月31日		前第3四半期(B) 自平成15年4月1日 至平成15年12月31日		(A) - (B)	(A) / (B)	前連結会計年度 自平成15年4月1日 至平成16年3月31日	
	百万円		百万円				百万円	
【資本剰余金の部】								
資本剰余金期首残高	36,699		36,699			100	36,699	
資本剰余金増加高	1				1			
自己株式処分差益	1				1			
資本剰余金四半期末(期末)残高	36,700		36,699		1	100	36,699	
【利益剰余金の部】								
利益剰余金期首残高	95,940		94,523		1,417	101	94,523	
利益剰余金増加高	13,121		1,841		11,280	713	3,408	
四半期(当期)純利益	13,121		1,841		11,280	713	3,408	
利益剰余金減少高	3,192		1,991		1,201	160	1,991	
配当金	2,998		1,784		1,214	168	1,784	
取締役賞与金	194		207		13	94	207	
利益剰余金四半期末(期末)残高	105,869		94,373		11,496	112	95,940	

連結キャッシュ・フロー計算書

区 分	当第3四半期 自平成16年4月1日 至平成16年12月31日	前第3四半期 自平成15年4月1日 至平成15年12月31日	前連結会計年度 自平成15年4月1日 至平成16年3月31日
【営業活動によるキャッシュ・フロー】	百万円	百万円	百万円
税金等調整前四半期(当期)純利益	26,638	5,775	9,665
減価償却費	17,196	14,414	19,108
事業構造改革特別損失	1,656	186	2,452
持分変動利益	1,681	-	-
退職給付引当金の増加額	1,445	989	935
受取利息及び受取配当金	309	223	285
支払利息	1,962	1,521	2,092
売上債権の増加額()	7,562	3,408	6,569
完成工事未収入金の減少額	1,316	4,476	10,065
たな卸資産の増加額()	15,566	7,756	4,438
仕入債務の増加額又は減少額()	5,502	3,270	954
その他の	5,315	107	4,650
小計	25,282	12,811	27,421
確定拠出年金移管金の支払額	1,931	1,819	1,851
事業構造改革特別損失の支払額	1,294	-	-
利息及び配当金の受取額	310	291	456
利息の支払額	2,064	1,731	2,405
法人税等の支払額	5,355	3,081	3,497
高規格堤防補償収入	1,137	-	-
営業活動によるキャッシュ・フロー	16,085	6,471	20,124
【投資活動によるキャッシュ・フロー】			
有価証券の売却による収入	-	112	153
有価証券の償還による収入	1,000	-	-
投資有価証券の取得による支出	39	13,947	14,114
連結子会社株式の売却による収入	-	1,037	1,037
有形固定資産の取得による支出	15,875	12,997	17,281
有形固定資産の売却による収入	6,203	12,862	15,891
無形固定資産の取得による支出	283	476	703
事業譲渡による収入	-	-	620
事業譲受による支出	-	3,859	3,856
連結範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	-	1,207	1,207
連結範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	1,692	-	-
その他の	312	477	653
投資活動によるキャッシュ・フロー	10,998	16,538	17,699
【財務活動によるキャッシュ・フロー】			
短期借入金純増加額	3,884	3,969	3,421
長期借入による収入	4,734	14,123	14,623
長期借入金の返済による支出	5,044	19,015	21,436
社債の発行による収入	2,098	9,686	11,619
社債の償還による支出	11,167	20,582	20,689
自己株式の売却による収入	3	-	-
自己株式の取得による支出	2,119	10	1,410
親会社による配当金の支払額	2,998	1,784	1,784
少数株主への配当金の支払額	357	130	130
財務活動によるキャッシュ・フロー	10,966	13,743	15,786
現金及び現金同等物に係る換算差額	54	924	1,127
現金及び現金同等物の減少額()	5,825	24,734	14,488
現金及び現金同等物期首残高	42,896	57,384	57,384
新規連結に伴う現金及び現金同等物増加額	10,603	-	-
現金及び現金同等物期末残高	47,674	32,650	42,896
現金及び現金同等物の期末残高と連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係			
現金及び預金	35,298	23,596	20,746
有価証券(MMF等)	52	386	51
関係会社預け金	12,324	8,668	22,099
現金及び現金同等物期末残高	47,674	32,650	42,896

セグメント情報

1. 事業の種類別セグメント情報

当第3四半期：平成16年4月1日～平成16年12月31日

(単位：百万円)

	高級 金属製品	電子・ 情報部品	高級機能 部品	サービス他	計	消去 又は 全社	連結
.売上高及び営業損益							
売上高							
(1)外部顧客に 対する売上高	125,969	101,403	113,835	73,387	414,594	-	414,594
(2)セグメント間 の内部売上高 又は振替高	24,386	19,429	11,798	2,941	58,554	58,554	-
計	150,355	120,832	125,633	76,328	473,148	58,554	414,594
営業費用	136,454	110,746	119,660	75,142	442,002	56,997	385,005
営業利益	13,901	10,086	5,973	1,186	31,146	1,557	29,589

前第3四半期：平成15年4月1日～平成15年12月31日

(単位：百万円)

	高級 金属製品	電子・ 情報部品	高級機能 部品	サービス他	計	消去 又は 全社	連結
.売上高及び営業損益							
売上高							
(1)外部顧客に 対する売上高	104,068	28,494	104,028	67,223	303,813	-	303,813
(2)セグメント間 の内部売上高 又は振替高	19,636	11,893	12,182	1,657	45,368	45,368	-
計	123,704	40,387	116,210	68,880	349,181	45,368	303,813
営業費用	117,121	39,682	111,904	69,908	338,615	44,519	294,096
営業利益	6,583	705	4,306	1,028	10,566	849	9,717

前期：平成15年4月1日～平成16年3月31日

(単位：百万円)

	高級 金属製品	電子・ 情報部品	高級機能 部品	サービス他	計	消去 又は 全社	連結
.売上高及び営業損益							
売上高							
(1)外部顧客に 対する売上高	143,099	39,484	142,663	94,834	420,080	-	420,080
(2)セグメント間 の内部売上高 又は振替高	26,895	16,259	16,537	2,237	61,928	61,928	-
計	169,994	55,743	159,200	97,071	482,008	61,928	420,080
営業費用	160,249	53,468	152,336	96,262	462,315	60,811	401,504
営業利益	9,745	2,275	6,864	809	19,693	1,117	18,576

(注) 事業区分の方法・・・製品の種類、製造方法、販売方法等の類似性、収益管理等の単位を勘案し事業区分を行っている。

(事業区分の変更) 当連結会計年度より、事業区分を従来の「高級金属製品」「電子・情報部品」「自動車用高級鋳物部品」「設備・建築部材」「サービス他」の5事業から次の(注)のとおり、「高級金属製品」「電子・情報部品」「高級機能部品」「サービス他」の4事業に変更した。これは、(株)NEOMAXグループが連結対象となったことやアモルファス金属材料事業の買収、水処理事業の譲渡などによる事業構成の大幅な変化を契機に事業区分の見直しを行い、当社の連結経営管理上主要な製品事業区分を「高級金属製品」「電子・情報部品」「高級機能部品」の3事業に再編成したことによるものである。従来の「自動車用高級鋳物部品」「設備・建築部材」セグメントに属する製品については、環境事業の縮小にともない、製品形態、製造方法の類似性が高まったため、これらを「高級機能部品」として統合し、環境事業製品を「サービス他」に変更した。

各事業区分の主要製品

事業区分	主要製品
高級金属製品	高級特殊鋼、複写機・OA機器関連部品、ディスプレイ関連材料、半導体等パッケージ材料 鉄鋼圧延用ロール・非金属圧延用ロール・非金属用ロール、射出成形機用部品、 構造用セラミックス部品、鉄骨構造部品、建設機械・造船その他一般産業機械用鋳鋼品、 鍛鋼品、切削工具
電子・情報部品	フェライト・希土類・鋳造・ボンドマグネットおよびその応用品 アイソレータ、積層部品、ソフトフェライト、EMC部品、IT機器用材料・部品 AV用部品・材料、ナノ結晶軟磁性合金[ファインメット®]、非晶質合金[アモルファス]
高級機能部品	高級ダクタイル鋳鉄製品[HNM®]、耐熱鋳造製品[ハーキュナイト®] アルミホイール[SCUBA®]その他アルミニウム製品、プラスチック配管機器、 ステンレス配管機器、鉄管継手、管端防食継手、排水鋼管用可とう継手、冷却水供給装置、 精密流体制御機器、密閉式膨張用タンク、内装システム、構造システム
サービス他	環境設備(焼却・廃棄物処理)、環境分析・コンサルティング、 金属材料の分析・調査・解析、マグネシウム他軽合金材料のプレスフォーミング成形品、 その他の販売・サービス等

本セグメント情報の金額は消費税抜きで表示している。

営業費用のうち「消去又は全社」に含めた配賦不能営業費用(当第3四半期1,345百万円、前第3四半期894百万円)の
主なものは、提出会社の本社コーポレート部門に係る費用である。

2. 所在地別セグメント情報

当第3四半期：平成16年4月1日～平成16年12月31日

(単位：百万円)

	日本	北米	アジア	その他	計	消去 又は全社	連結
売上高及び営業損益							
売上高							
(1)外部顧客に対 する売上高	312,154	50,656	39,788	11,996	414,594	-	414,594
(2)セグメント間 の内部売上高 又は振替高	42,611	6,013	22,665	412	71,701	71,701	-
計	354,765	56,669	62,453	12,408	486,295	71,701	414,594
営業費用	328,408	54,212	60,209	12,313	455,142	70,137	385,005
営業利益	26,357	2,457	2,244	95	31,153	1,564	29,589

前第3四半期：平成15年4月1日～平成15年12月31日

(単位：百万円)

	日本	北米	アジア	その他	計	消去 又は全社	連結
売上高及び営業損益							
売上高							
(1)外部顧客に対 する売上高	232,196	42,688	18,249	10,680	303,813	-	303,813
(2)セグメント間 の内部売上高 又は振替高	23,630	3,339	7,308	234	34,511	34,511	-
計	255,826	46,027	25,557	10,914	338,324	34,511	303,813
営業費用	248,409	43,799	24,913	10,631	327,752	33,656	294,096
営業利益	7,417	2,228	644	283	10,572	855	9,717

前期：平成15年4月1日～平成16年3月31日

(単位：百万円)

	日本	北米	アジア	その他	計	消去 又は全社	連結
売上高及び営業損益							
売上高							
(1)外部顧客に対 する売上高	321,769	58,092	25,300	14,919	420,080	-	420,080
(2)セグメント間 の内部売上高 又は振替高	32,178	4,946	10,599	352	48,075	48,075	-
計	353,947	63,038	35,899	15,271	468,155	48,075	420,080
営業費用	339,620	59,349	34,702	14,768	448,439	46,935	401,504
営業利益	14,327	3,689	1,197	503	19,716	1,140	18,576

(注) 国又は地域の区分は、地理的近接度によっている。

本邦以外の区分に属する主な国又は地域

- (1)北 米 …アメリカ
- (2)ア ジ ア …シンガポール・中国・タイ・フィリピン
- (3)その他の地域…ドイツ・オーストラリア

営業費用のうち「消去又は全社」に含めた配賦不能営業費用(当第3四半期 1,345百万円、前第3四半期 894百万円)の主なものは、提出会社の本社コーポレート部門に係る費用である。

3. 海外売上高

当第3四半期：平成16年4月1日～平成16年12月31日（単位：百万円）

	北 米	アジア	その他	計
.海外売上高	46,729	81,344	23,986	152,059
.連結売上高				414,594
.海外売上高の連結売上高に占める割合	11.3%	19.6%	5.8%	36.7%

前第3四半期：平成15年4月1日～平成15年12月31日（単位：百万円）

	北 米	アジア	その他	計
.海外売上高	39,373	41,065	16,380	96,818
.連結売上高				303,813
.海外売上高の連結売上高に占める割合	13.0%	13.5%	5.4%	31.9%

前期：平成15年4月1日～平成16年3月31日（単位：百万円）

	北 米	アジア	その他	計
.海外売上高	53,260	56,395	22,997	132,652
.連結売上高				420,080
.海外売上高の連結売上高に占める割合	12.7%	13.4%	5.5%	31.6%

(注) 国又は地域の区分は、地理的近接度によっている。

各区分に属する主な国又は地域

- (1)北 米 …アメリカ・カナダ
- (2)ア ジ ア …韓国・中国・台湾・シンガポール
- (3)その他の地域…E U諸国

海外売上高は、提出会社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高である。売上高の金額は消費税等抜きで表示している。

平成17年3月期 第3四半期財務・業績の概況（個別）

平成17年1月31日

上場会社名 日立金属株式会社

上場取引所 東大

コード番号 5486

本社所在都道府県 東京都

(URL <http://www.hitachi-metals.co.jp>)

代表者 執行役社長 本多 義弘

問合せ先責任者 コミュニケーション室長 石毛 秀 TEL (03)5765-4073



1. 四半期財務情報の作成等に係る事項

会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 有

固定資産の減価償却の方法について年度見込額のうち当第3四半期分を計上しております。また、法人税等の計上は、簡便的に課税所得金額を算定し、法定実効税率を使用して計上しております。

最近会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 無

2. 平成17年3月期第3四半期財務・業績の概況（平成16年4月1日～平成16年12月31日）

(1) 経営成績の進捗状況

(注) 17年3月期第3四半期および16年3月期第3四半期は百万円未満四捨五入、16年3月期は百万円未満切り捨てで表示しております。

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
17年3月期第3四半期	184,787	2.0	8,369	223.3	10,261	135.7	4,315	38.0
16年3月期第3四半期	181,191	-	2,589	-	4,353	-	3,127	-
(参考)16年3月期	247,484		4,669		6,876		2,983	

	1株当たり四半期(当期)純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益
	円 銭	円 銭
17年3月期第3四半期	12.24	-
16年3月期第3四半期	8.76	-
(参考)16年3月期	8.38	-

(注) 売上高、営業利益等におけるパーセント表示は、対前年同四半期増減率

(2) 財政状態の変動状況

	総資産	株主資本	株主資本比率	1株当たり株主資本
	百万円	百万円	%	円 銭
17年3月期第3四半期	278,427	117,672	42.3	336.51
16年3月期第3四半期	284,311	119,915	42.2	335.96
(参考)16年3月期	285,536	118,401	41.5	334.98

3. 平成17年3月期の業績予想（平成16年4月1日～平成17年3月31日）

	売上高	経常利益	当期純利益
	百万円	百万円	百万円
通期	245,000	11,600	4,200

(参考) 1株当たり予想当期純利益(通期) 11円76銭

[業績予想に関する定性的情報等]

国際市況の影響による原材料価格の上昇や需要動向の変化などが見込まれますが、平成17年3月期の業績につきましては、売上高は平成16年9月中間期決算発表時の予想を上回る見込みです。

(注記) 前述の業績見通し等に記載されている各数値は、実績数値を除き当社の経営者が現時点で判断する一定の前提および仮定に基づき算定しております。内在する仮定及び状況の変化等により、実際の業績等が見通しの数値と異なることがあり得ますことをご承知おき下さい。